

ウトロ地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>世界自然遺産である知床の自然と調和した漁業、知床観光との連携を念頭に置いた将来像となっており、地域の資源を活用した計画となっていますが、地域の観光の将来像、漁業と観光の連携による相乗効果のさらなる発揮方策や冬期間の漁業や観光の姿を検討し、マリンビジョンに盛り込むと地域のポテンシャルを活かした個性ある計画になると考えられます。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>本地域は漁業・観光とも個々のポテンシャルが高いことから、それらの調和が高次元でなされれば漁業と観光が効果的に相乗効果を発揮することが実現すると考えられ、漁業及び地域を振興させる計画として独創的かつ先駆的なものとなる可能性があります。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>漁業と観光との連携融合を図っていく観点から考えると、観光関係の関係者が協議会に入っていないことが残念であり、計画策定過程に地域の観光関係者も参画していくことが望ましいと考えられます。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>将来ビジョンの実現を図るために、ウトロ漁港は衛生管理流通拠点および都市漁村交流拠点としての機能を有しています。見学施設、直販・飲食、観光船、道の駅等を漁港の中でどのように関連付けていくのかを明確にしていくとビジョンがより具体的になると考えられます。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>構想実現に向けた取り組み主体の一部となるべき観光関係者が、協議会メンバーに入ると、取り組み内容ごとの実行主体が明確になり、計画の実効性が高まると考えられます。</p>